

令和5年度 第2回 浜松市立西都台小学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和5年7月27日（木）午後1時30分～午後3時30分
2. 開催場所 西都台小学校 2階 研修室
3. 出席委員 竹山慎太良、野島治代、鈴木正慶、竹村義秀、吉野好永、田澤健司、寺田茂紀、明戸良美
4. 欠席委員 松下正行、坂下奈生子
5. オブザーバー 徳増宏之（入野協働センター所長）
6. 学校 井口幸英（校長）、藤井早苗（教頭）、伊藤啓太（教務主任）、和久田里恵（CS ディレクター）
7. 教育委員会 牧野知子（教育総務課）、河合祥悟（指導課）
8. 傍聴者 1人
9. 協議事項 （1）議長の選出について
（2）「生活科」「総合的な学習の時間」での学びにつながる地域素材の整理・共有
10. 会議録作成者 CS ディレクター 和久田里恵
11. 会議記録

司会の藤井から、委員総数の過半数の出席があるため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会、会長より今回の熟議の議長を田澤委員にお願いしたい旨を報告したところ、全員異議なくこれを承認した。

（2）「生活科」「総合的な学習の時間」での学びにつながる地域素材の整理・共有

教育委員会指導課 河合から別紙資料に基づき、生活科・総合的な学習の時間に期待される役割等の説明があった。それを受け、教職員と委員にて西都台の地域素材を見付けるワークショップを行ってから、委員からは以下の発言があった。

【ワークショップ：西都台地域の教育資源、特徴、素材は何があるか。】

各学年に分かれて、西都台地区のよさや特徴を表すキーワードを集めた。

歴史：竪穴住居が校内にある。丸山城跡。中平遺跡。陣屋。志都呂小学校。

体験：田んぼ。畑、野菜。西見寺、座禅。

竹：たけのこ掘り。竹炭。竹馬。竹細工。

祭り：秋祭り。やいとう。初午。こんこさま。

地理：志都呂・入野・西鴨江。昔ながらの町と新しい街の共存。

地名の由来→「呂」がつく志都呂・神久呂。「台」がつく大平台、佐鳴台、桜台。

開発：区画整理に伴う人口増。大型商業施設の充実。

- やりたいことはたくさんあっても、先生も子供も忙しく時間がとれない心配がある。（竹山委員）
⇒「生活科」「総合的な学習の時間」として週2時間、年間70時間の時間の確保はある。授業の年間計画があり、教え込みの延長になってしまっているのが課題。子供たちから引き出すような授業をしたい。（学校）
- やりたいこと全部はできないが、子供の反応を見ながら関心のあることをできることからやればい

いと思う。(田澤委員)

- 伝統行事の「やいとう」や「こんこさま」等の歴史を知ること、おじいさんおばあさんと話をするきっかけになり、子供たちは興味があれば時間がなくても自分で調べていくと思う。(田澤委員)

(教育委員会指導課 河合より)

1、2年生で行う「生活科」、3年生から6年生で行う「総合的な学習の時間」は、いろいろな授業をつないでいく教科であり、地域とつなぐ教科といわれている。

地域素材を活用することは、調べやすく、子供の興味・関心を引き出しやすく、具体的な活動や体験から学びへの意識を高めることができる。

家庭・地域の方の協力は必須で、先生方にも地域の力のすごさに気付き、良さを広げていってほしい。その中から、子供の学びにふさわしいものを選び、子供が達成感・手応えを感じられる学びにつなげてほしい。

その他報告事項

(学校支援コーディネーター 明戸委員より)

- 花を植える会が、時間がなくてできなかった。
- 吉野委員の手助けもあり、七夕飾りをCSの活動として各クラスに飾ることができた。
- ボランティア活動をしてくれる「竹っ子サポーター」の募集のお知らせを、まずは保護者の方向けに作る準備をしている。
- 新しく3名の地域の方に交通ボランティアに入ってもらい、旗振りをしてもらった。急な天候不良等による登校時間の変更が、ボランティアの方にもスムーズに伝わるように調整したい。

(教頭より)

- 松下委員がPTAの本の読み聞かせボランティアを見学し、2学期から入ることになった。
- 竹村委員が2年生に野菜博士として野菜の作り方の説明したり、5年生に田植えやバケツ稲の仕方を教えてもらったりした。

司会から、次回会議は、令和5年9月20日(水)午後1時10分から西都台小学校2階研修室で、開催する旨の報告があった。